

SAWAKAMI REPORT

さわかみファンド
月次レポート



さわかみ投信株式会社

2019.10.31

船長よりファンド仲間の皆さまへ

代表取締役社長 澤上 龍

今月より“20周年感謝祭全国キャラバン”が始まりました！各県でお会いするファンド仲間の皆さまは一緒に笑顔で、同窓会のようなとても楽しく嬉しい時間です。さて20日(日)は千葉県での開催だったのですが、その日は会終了後、社員が一目散に帰宅していきました。そう、国民の心を震わせたラグビーワールドカップの決勝トーナメント(日本VS南アフリカ)が待っていたからです！この度のワールドカップ(同時に開催されたドーハ世界陸上なども)を見てみると、日の丸を背負った外国人が非常に目立ったのが印象的でした。15名の半分は外国人で、それで日本代表と言えるのか？しかし、それこそが時代遅れの発想なのだと即座に気づきました。試合が始まる直前の君が代斉唱。選手のみならず観客総動員で歌ったあの一体感に大きく心を揺さぶられました。要は国籍ではなく、何を胸に抱くかが大切なのです。単一民族だった日本にとって、まさに本格的な国際化・多様化をラグビーに見た気持ちです。それは先進国では既に当たり前の光景なのでしょう。翻ってさわかみファンドの“日本企業を応援する”も徐々に変わっていくような錯覚に陥りました。外国人経営者だろうが、外国法人だろうが、どの精神性で企業を導くかが重要なのです。それもまた、今後の日本を進化させるピースになるかもしれません。最後に…残念ながらトーナメント一回戦で日本代表は負けてしまいましたが、国民をラグビー熱に沸かした選手、関係者には心から感謝申し上げます(元ラグビー経験者としても)。

今月の航海日誌

取締役最高投資責任者 草刈 貴弘

さわかみファンドの今月の運用状況は、先月に続き堅調に推移しました。多くの企業の決算発表が始まり業績の見通しが見え始めたことや、米中問題が一服し関係が改善方向に進んでいるという報道、市況の底打ち期待から半導体をはじめ海運、電子部品など外需関連の株価上昇が目立ちました。8月に貿易摩擦の懸念から市場は大きく下げましたが、9月に入りその懸念が緩和方向に向かって以降はこれまで出遅れていた企業の株式が買われバリュエーション投資にとっては追い風が吹いた状況となりました。

今年は巨大で勢力の強い台風が都心を襲い、多くの被害をもたらしました。ファンド仲間の皆さまの中にも被災された方がいらっしゃると思います。心よりお見舞い申し上げます。

今回のような災害で、改めて事前の準備はもちろん、その場の判断によって大きな差が出てしまうものなのだなと感じました。浸水被害を受けた方がご自身で撮影した映像を報道番組で見ると、まるで映画のような状況で、もし目の前でそうなったのなら恐怖で足がすくんでしまうと思います。各地でハザードマップや災害情報の発信が強化されていますが、そもそものまちづくり、インフラから見直す必要が出てきていると思います。高齢化や過疎化といった問題も含め、新たな日本のまちづくりを早急に進める時なのだなと思います。

現在、金融市場は秋晴れのように温暖な状態が続いています。しかしマイナス金利が常態化し、社債やCPですらそうになっている状況です。本当は異常気象の状態になっているのです。いつ悪天候になり、濁流となって実体経済に襲い掛かるかは誰にも分かりません。その時のための準備と成長への種まきの双胴式で航海を進めていきます。

ファンド情報

2019年10月30日現在

顧客数(直販分)

116,401名(直近1か月 +27名)

定期定額購入 契約数

36,458名(全体比31.3%)

定期定額購入サービススケジュール

受付締切日(金額変更・中止):2019年11月19日(火)

振替日(引落日):2019年12月2日(月)

約定日(買付日):2019年12月10日(火)

約定日(買付日)とは…

振替日に引き落とされた金額によって、実際に『さわかみファンド』の買付が行われる日(約定日の基準価額が約定価額となります。)

お知らせ

マイナンバー届出へのご協力をお願い

現在、引き続きマイナンバー届出へのご協力をお願いしております。

平成31年度税制改正にて届出の猶予期限が2021年12月31日まで延長されましたが、まだご提出がお済みでない方はお早めにお手続きいただきますようお願いいたします。

なお、口座をお持ちの方で住所変更等のお手続きをされる場合はマイナンバーの提出が必要となり、猶予は適用されませんのでご注意ください。

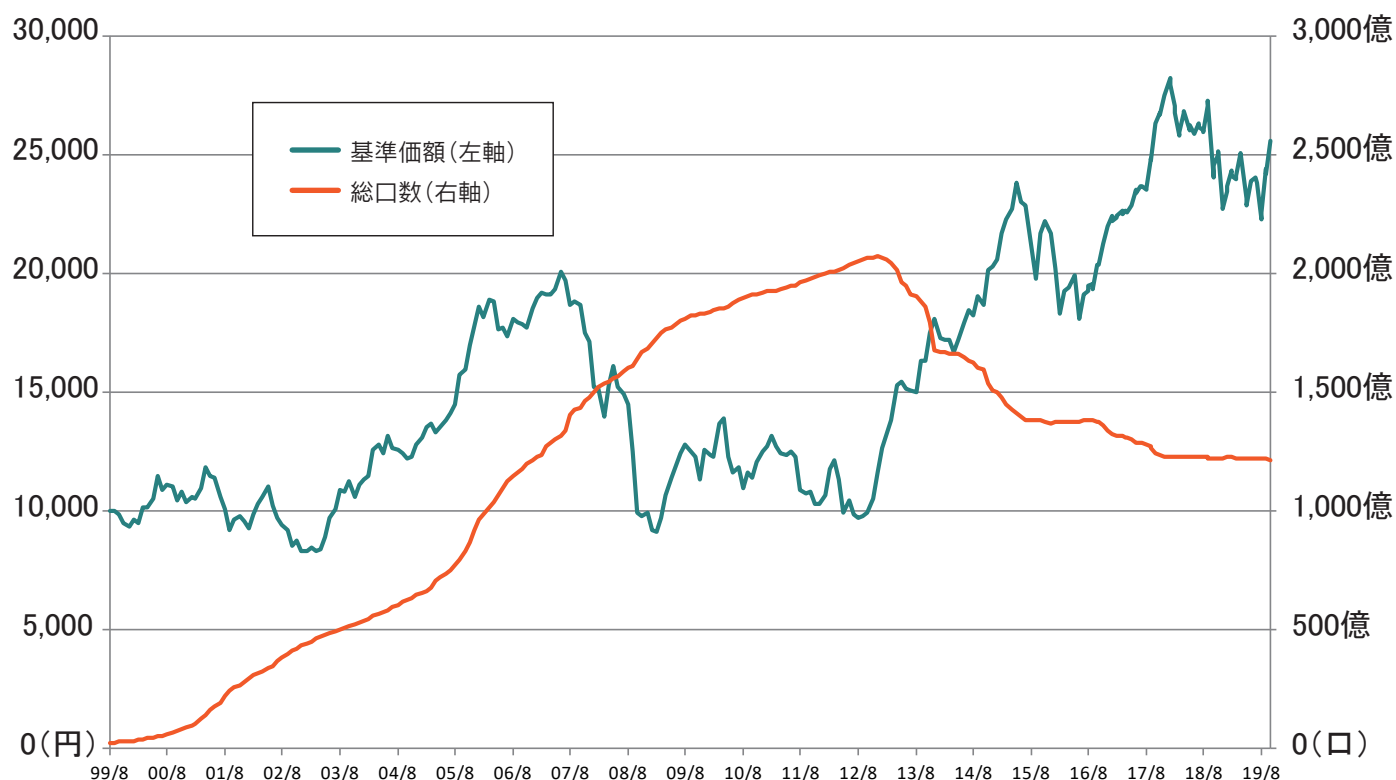
お気軽に「ご縁の窓口」までご連絡ください。

ご縁の窓口(営業時間 平日8:45~17:30)

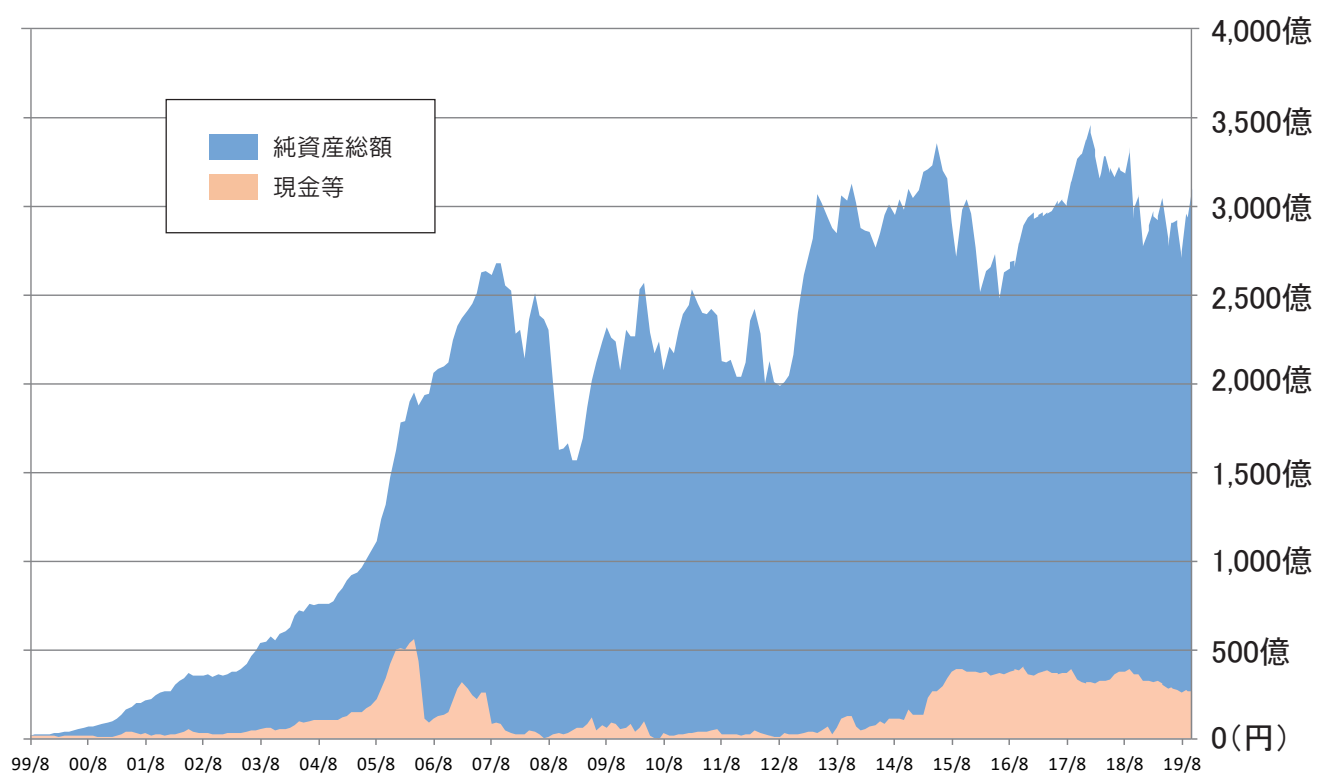


03-6706-4789

基準価額・総口数の推移



純資産総額・現金等の推移



「さわかみファンド」運用状況 2019年10月31日現在

基準価額		25,597円
純資産総額		3,100億59百万円
複利 年率	スポット購入	4.8%
	つみたて購入	5.8%
組入銘柄数		108銘柄

【参考】つみたて実績		
つみたて開始時期	投資額	評価額
5年前	60万円	約68万円
10年前	120万円	約188万円
1999年11月	240万円	約445万円

表記内容に関する補足

・「複利年率」とは、これまで運用した結果、年複利で何%のリターンになっているのかを示した数値です。「スポット購入」は設定時にのみ購入、「つみたて購入」は定期定額購入サービスの開始（1999年11月）以降毎月つみたてた場合の複利年率です。

・「つみたて実績」は、各つみたて開始時期から毎月1万円をつみたてた場合の投資額と評価額を記載しています。

※左記は過去の実績を示したものであり将来の成績を保証するものではなく、受益者ごとの購入時期によって運用結果は異なります。

(以下、すべて表記未満は切り捨て)

No	組入銘柄	保有株数	取得単価	株価	評価額	評価損益	投資損益	組入比率	持株比率	
		株	円	円	百万円	百万円	百万円	%	%	
1	日本電産	6594	1,025,000	3,047	16,085	16,487	+13,363	+15,417	5.31	0.34
2	ブリヂストン	5108	3,000,000	1,585	4,523	13,569	+8,811	+14,552	4.37	0.39
3	花王	4452	1,500,000	2,245	8,744	13,116	+9,747	+14,189	4.23	0.31
4	ダイキン工業	6367	825,000	2,818	15,230	12,564	+10,239	+13,590	4.05	0.28
5	テルモ	4543	2,968,000	997	3,550	10,536	+7,576	+8,563	3.39	0.39
6	信越化学工業	4063	852,600	5,556	12,160	10,367	+5,629	+7,033	3.34	0.20
7	浜松ホトニクス	6965	2,232,600	1,099	4,230	9,443	+6,988	+7,670	3.04	1.35
8	ＴＯＴＯ	5332	2,000,000	1,370	4,455	8,910	+6,168	+8,289	2.87	1.13
9	トヨタ自動車	7203	1,150,000	4,167	7,542	8,673	+3,880	+13,064	2.79	0.03
10	国際石油開発帝石	1605	7,400,000	1,367	1,008	7,462	▲2,655	▲1,146	2.40	0.50
11	デンソー	6902	1,190,000	2,942	5,062	6,023	+2,522	+4,977	1.94	0.15
12	朝日インテック	7747	1,717,200	1,052	2,990	5,134	+3,327	+3,376	1.65	0.65
13	セブン&アイ・ホールディングス	3382	1,250,000	2,493	4,100	5,125	+2,008	+2,891	1.65	0.14
14	旭化成	3407	4,229,400	515	1,211	5,123	+2,944	+4,681	1.65	0.30
15	日本特殊陶業	5334	2,300,000	1,107	2,217	5,099	+2,552	+4,589	1.64	1.10
16	三浦工業	6005	1,500,000	774	3,290	4,935	+3,773	+4,226	1.59	1.19
17	ホンダ	7267	1,650,000	3,180	2,942	4,854	▲393	+1,092	1.56	0.09
18	ディスコ	6146	200,000	6,069	23,880	4,776	+3,562	+4,132	1.54	0.55
19	マニー	7730	1,500,000	344	2,873	4,309	+3,792	+4,263	1.38	1.40
20	三菱電機	6503	2,500,000	611	1,556	3,891	+2,362	+3,754	1.25	0.11
21	キッコーマン	2801	735,000	1,130	5,230	3,844	+3,012	+4,368	1.23	0.37
22	ＯＳＧ	6136	1,600,000	1,007	2,337	3,739	+2,127	+3,319	1.20	1.63
23	三井物産	8031	1,995,000	1,176	1,867	3,725	+1,378	+2,754	1.20	0.11
24	住友化学	4005	7,450,000	417	499	3,717	+605	+1,666	1.19	0.45
25	東レ	3402	4,800,000	618	770	3,699	+728	+1,507	1.19	0.29
26	ＨＯＹＡ	7741	360,000	3,129	9,603	3,457	+2,330	+3,846	1.11	0.09
27	安川電機	6506	780,000	544	4,180	3,260	+2,835	+4,054	1.05	0.29
28	王子ホールディングス	3861	5,762,000	428	565	3,255	+786	+1,723	1.04	0.56
29	DMG森精機	6141	1,775,000	906	1,775	3,150	+1,541	+2,635	1.01	1.40
30	ＳＭＣ	6273	65,000	13,774	47,190	3,067	+2,171	+2,849	0.98	0.09
31	日東電工	6988	475,000	5,104	6,040	2,869	+444	+916	0.92	0.29
32	伊藤園	2593	540,000	2,250	5,290	2,856	+1,641	+2,210	0.92	0.60
33	パナソニック	6752	3,063,300	1,307	916	2,808	▲1,195	▲423	0.90	0.12
34	日本精工	6471	2,700,000	819	1,016	2,743	+531	+1,719	0.88	0.48
35	コマツ	6301	1,050,000	1,569	2,559	2,686	+1,039	+2,901	0.86	0.10
36	商船三井	9104	900,000	6,117	2,976	2,678	▲2,827	▲2,981	0.86	0.74
37	三菱重工業	7011	600,000	3,213	4,402	2,641	+713	+4,426	0.85	0.17
38	協和キリン	4151	1,240,000	909	1,996	2,475	+1,347	+3,167	0.79	0.22
39	日本製鉄	5401	1,500,000	2,654	1,591	2,387	▲1,594	+182	0.76	0.15
40	キヤノン	7751	772,000	4,123	2,962	2,286	▲896	+719	0.73	0.05
41	ヤクルト本社	2267	360,800	2,161	6,220	2,244	+1,464	+2,590	0.72	0.21
42	スズキ	7269	380,000	1,952	5,137	1,952	+1,209	+2,635	0.62	0.07
43	キリンホールディングス	2503	825,000	1,029	2,305	1,901	+1,051	+1,882	0.61	0.09
44	大同特殊鋼	5471	394,000	5,206	4,770	1,879	▲171	+257	0.60	0.90
45	日本ガイシ	5333	1,100,000	1,485	1,674	1,841	+207	+2,558	0.59	0.33
46	三菱商事	8058	650,000	1,652	2,764	1,796	+722	+1,671	0.57	0.04
47	ヒロセ電機	6806	130,300	10,361	13,730	1,789	+438	+1,053	0.57	0.33
48	椿本チエイン	6371	475,000	2,393	3,730	1,771	+634	+1,349	0.57	1.24
49	ファナック	6954	80,000	17,303	21,600	1,728	+343	+430	0.55	0.03
50	デクセリアルズ	4980	1,732,000	866	961	1,664	+163	+192	0.53	2.71
51	マキタ	6586	444,000	1,465	3,685	1,636	+985	+1,864	0.52	0.15
52	村田製作所	6981	275,000	4,133	5,863	1,612	+475	+2,482	0.52	0.04
53	ＮＴＮ	6472	4,600,000	426	339	1,559	▲403	+156	0.50	0.86
54	JXTGホールディングス	5020	3,000,000	516	509	1,528	▲20	+437	0.49	0.09
55	沢井製薬	4555	250,000	4,955	6,110	1,527	+288	+338	0.49	0.56
56	ダイセキ	9793	480,000	1,437	3,175	1,524	+833	+1,489	0.49	1.11
57	住友電気工業	5802	1,000,000	1,114	1,496	1,496	+382	+1,183	0.48	0.12
58	富士フイルムホールディングス	4901	300,000	2,295	4,780	1,434	+745	+3,185	0.46	0.05
59	ＴＨＫ	6481	443,600	1,452	3,155	1,399	+755	+1,544	0.45	0.33
60	日立製作所	6501	337,900	2,988	4,069	1,374	+365	+589	0.44	0.03
61	日本触媒	4114	200,000	4,867	6,720	1,344	+370	+1,363	0.43	0.49
62	パナソニック・ホールディングス	7817	310,000	2,296	4,175	1,294	+582	+855	0.41	1.00
63	クラレ	3405	980,000	971	1,298	1,272	+319	+2,019	0.41	0.27
64	DOWAホールディングス	5714	300,000	2,560	3,760	1,128	+359	+700	0.36	0.48

(すべて表記未満は切り捨て)

No	組入銘柄	保有株数	取得単価	株価	評価額	評価損益	投資損益	組入比率	持株比率	
		株	円	円	百万円	百万円	百万円	%	%	
65	ハンズマン	7636	890,000	307	1,242	1,105	+832	+1,063	0.35	6.13
66	ヤマトホールディングス	9064	600,000	1,255	1,824	1,094	+341	+1,337	0.35	0.14
67	J S R	4185	500,000	1,417	2,049	1,024	+315	+1,465	0.33	0.22
68	C Y B E R D Y N E	7779	1,450,000	999	698	1,012	▲436	▲436	0.32	1.05
69	メック	4971	550,000	818	1,831	1,007	+556	+757	0.32	2.74
70	ダイセル	4202	1,000,000	530	976	976	+445	+909	0.31	0.30
71	東京ガス	9531	350,000	2,372	2,646	926	+95	+462	0.29	0.07
72	東海カーボン	5301	832,800	1,171	1,104	919	▲55	▲40	0.29	0.37
73	関西ペイント	4613	350,000	701	2,625	918	+673	+1,296	0.29	0.12
74	ツムラ	4540	300,000	2,348	2,998	899	+194	+499	0.29	0.39
75	A N Aホールディングス	9202	230,000	2,514	3,722	856	+277	+1,268	0.27	0.06
76	ジョーントホールディングス	1414	200,000	496	4,220	844	+744	+1,678	0.27	0.35
77	K O A	6999	600,000	1,015	1,373	823	+214	+536	0.26	1.48
78	ビジョン	7956	152,700	3,896	5,320	812	+217	+220	0.26	0.12
79	クレハ	4023	110,000	4,142	6,980	767	+312	+729	0.24	0.52
80	島津製作所	7701	260,000	2,580	2,918	758	+87	+91	0.24	0.08
81	フェロテックホールディングス	6890	700,000	809	1,082	757	+190	+1,131	0.24	1.88
82	トプコン	7732	500,000	1,180	1,506	753	+162	+272	0.24	0.46
83	ユニ・チャーム	8113	188,700	877	3,689	696	+530	+1,750	0.22	0.03
84	高砂香料工業	4914	238,000	2,628	2,728	649	+23	+298	0.20	1.18
85	タダノ	6395	655,000	982	990	648	+4	+9	0.20	0.50
86	サンバイオ	4592	130,000	1,250	4,410	573	+410	+467	0.18	0.25
87	コメリ	8218	240,000	2,950	2,328	558	▲149	+79	0.18	0.44
88	味の素	2802	225,000	1,035	2,059	463	+230	+1,496	0.14	0.04
89	スタンレー電気	6923	150,000	1,398	3,030	454	+244	+1,353	0.14	0.08
90	中部飼料	2053	340,000	667	1,270	431	+204	+613	0.13	1.11
91	リニカル	2183	349,300	1,253	1,005	351	▲86	▲82	0.11	1.41
92	東京製鐵	5423	400,000	817	875	350	+23	+522	0.11	0.25
93	カナミックネットワーク	3939	520,000	595	616	320	+10	+11	0.10	1.08
94	日揮	1963	200,000	1,369	1,585	317	+43	+776	0.10	0.07
95	西島製作所	6363	290,200	1,138	1,037	300	▲29	+15	0.09	0.98
96	O R A C L E C O	ORCL	50,000	-	-	298	-	-	0.09	0.00
97	日立金属	5486	156,100	1,141	1,368	213	+35	+1,170	0.06	0.03
98	S U B A R U	7270	58,500	2,495	3,123	182	+36	+37	0.05	0.00
99	クボタ	6326	100,000	641	1,732	173	+109	+2,051	0.05	0.00
100	メタウォーター	9551	39,700	2,847	4,250	168	+55	+56	0.05	0.15
101	生化学工業	4548	100,000	1,167	1,243	124	+7	+82	0.04	0.17
102	竹内製作所	6432	35,500	1,500	1,711	60	+7	+7	0.01	0.07
103	J Pホールディングス	2749	200,000	211	289	57	+15	+50	0.01	0.22
104	リオン	6823	15,000	1,974	2,585	38	+9	+9	0.01	0.12
105	アネスト岩田	6381	14,400	849	1,041	14	+2	+2	0.00	0.03
106	澁谷工業	6340	3,800	2,601	2,977	11	+1	+1	0.00	0.01
107	ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング	7774	10,000	331	869	8	+5	+40	0.00	0.02
108	日本水産	1332	200	520	621	0	+0	+0	0.00	0.00
国内株式評価額					283,878	百万円		91.55	%	
外国株式評価額					298	百万円		0.09	%	
現金等					25,883	百万円		8.36	%	
純資産総額					310,059	百万円		100.00	%	

(参考情報)

【外国株の残高概算情報（現地通貨ベース、直近時点）】

【外国株の残高計算情報（現地通貨・入・直近時点）】										
No	組入銘柄		国	通貨	保有株数 株	取得単価	株価	評価額 百万	評価損益 百万	投資損益 百万
1	O R A C L E C O	ORCL	アメリカ	USD(米ドル)	50,000	44.73	54.85	2.74	+0.50	+0.57

取得単価 保有している株式の、1株当たりの買値(手数料等含む)を表しています。

組入比率 「さわかみファンド」の純資産総額に占める当銘柄の評価額の割合です。

評価額 組入銘柄ごとの、保有株式の価値を表しています。(株価×保有株数)
外国株については、直近の株価をベースに、本日の評価レートで邦貨換算しています。

持株比率 当銘柄の発行済株式数に対する「さわかみファンド」の保有割合です。

評価損益 組入銘柄ごとの、総取得額に対する評価額の損益状況を表しています。(株価－取得単価)×保有株数

投資損益 評価損益に、当銘柄から過去に受け取った配当金、および一部売却による損益(手数料等含む)を加えたものです。
(投資損益は参考数値です。過去に全株を売り切った場合、売り切り以前の投資損益は含まれません。)

意到随筆

取締役最高投資責任者 草刈 貴弘

台風15号、19号、その後も続く豪雨災害により被害を受けた皆さまへ、心よりお見舞い申し上げます。今回の台風は大型であり、非常に強力なまま首都圏を直撃し甚大な被害をもたらしました。広域に被害が及び、突風による倒壊、河川の堤防決壊に伴う浸水被害、土砂崩れ、東京湾における貨物船の沈没や下水、がれきによる東京湾の汚れなど、各地で未だにその被害の爪痕が残っています。近年は各地でこのような自然災害が過去と比べて多発しているなど感じるのは私だけではないでしょう。ちょうど先月には地球温暖化についての議論が国連でなされ、16歳の少女のスピーチは世界に衝撃を与えていました。それによって気候変動が与える影響に興味を持つ人が増えているようで、改めて考えるきっかけとなり、実際の災害を目前にするとともに無視できないレベルになっているのではないかと思います。地球温暖化と気候変動の因果関係は科学的に証明されているわけではないのですが、実際の肌感覚で過去の気候とずいぶん変化していると感じます。気候は人間の生活に影響を与えますから、経済に直接関わってきます。つまり、気候変動によって経済活動が変わる、あるいは起こりうるリスクを考えなければならぬ状況なのかもしれません。企業経営はもちろん、私たち個人の生活においても大きな問題です。

私が住んでいる関東が基準となってしまいますが、今年は梅雨明けが遅れ7月の後半まで涼しい夏でした。雨も多く天候がすっかりしないため、夏のレジャーへの影響が懸念されていました。夏物販売が冴えず、百貨店では日傘やサングラスが3割減。屋外レジャーの代表格であるプール(都内大手施設)では、来場者が対前年比で9割減というものでした。野菜の価格もキュウリやナスが東京都卸売市場で昨年と比較し5割高となり、食卓に打撃を与えました。ところが梅雨が明けた8月からは猛暑が続き、9月までも35度を超える日が連続しました。このようにあまりにも暑い日が続いたり、ゲリラ豪雨の威力を見たりすると、子供のころと気象が違っているなど感じます。猛暑と言えば昨年は40度を超える日があり、平均気温は1946年の統計開始以降、最も高かったそうです。気温が高すぎると今度は外出が控えめになり、やはり消費、レジャーへ影響してしまいます。気温は高すぎても低すぎても良くないということが分かります。

では実際に気温が高くなったことで天候にどのような変化がみ

られるのでしょうか。気象庁のHP「大雨や猛暑日など(極端現象)のこれまでの変化」を見てみると30年間の変化が分かりやすく示されています。日本においてもこの期間に1時間で降水量が50mmを超える強雨が発生した回数が増えており、直近の10年間の平均発生回数は40年前からの10年間のものと比較して1.4倍に増えています。一方で降水量が1mm以上の日は減少しており、100年で10日程度減っています。一見矛盾しているような結果なのですが、これには気温の上昇がカギになります。中学生の理科を思い出してください。気温の上昇は空気の飽和水蒸気量を増加させることになります。容器が大きくなったとイメージすれば分かりやすいかもしれません。容器から溢れることで雨になると考えると、容量が増え蓄えられる量が増えたために降水日数が減ったということになります。ところが、蓄えられる水量が増えたことで、降った際の降水量が非常に多くなるので強雨の発生回数は増えているということなのです。実際の気象現象は、それ以外にも多くが絡んでいるのでそれほどシンプルなものではないですが。

先日の台風で北陸新幹線の車両基地が水没したり、工場の水門が水压で破壊され浸水してしまったりしている映像を見て、これまでの対策では意味がないのではないかと思うようになりました。米国ではハリケーンが大型化し、フロリダ州を中心に南部に大きな被害をもたらします。環境問題専門のコンサルティング会社の分析によると、実際の金融機関のデータをもとに作られたフロリダ州南部の住宅ローン10万件の合成ポートフォリオを分析した結果、今後20年間で洪水などによる損失が3倍になると予想しています。近年、発生が頻発しており、慢性的なリスクとして認識され始めていることが理由です。そうならば保険料は高騰し、デフォルトを引き起こす可能性が示唆され、資産価格の下落やデフォルト率の上昇、保険の引き受けリスクの上昇と住宅市場、金融市場に大きな足かせとなる可能性が問題視されています。これは日本でも同じで、異常気象による生活への影響を真剣に考えるべき時が来ているのかもしれません。

だからといって今をすべて否定するのではなく、確実に前進させるために何ができるのか。今後の10年20年30年を見据えたうえで、どんな世界となっているのか。想像を超える新たな解決策を期待しつつ、すでにある素晴らしい技術の組み合わせなど、人類の可能性に期待しています。

パワーあふれる投信会社 社員コメント集

■ラグビーワールドカップに学ぶ 【直販部／尾関】

このレポートを読まれている頃は、決勝が行われている頃でしょうか。台風による中止の影響を受けましたが、それでも我が家は2試合観戦に行きました。にわかファンの私たちにはラグビーのルールは難しいのですが、そもそもこのスポーツの前提にある理念は、そのプレイが正々堂々、紳士的なものであるかということだそうです。これは普段の生活でも大切な振る舞いですが、今の私はそれができているのでしょうか。皆さんにも伺いしてみたいのですが、普段関わる人に正々堂々と紳士的に対応していますか？余計な一言をつけたり抜いたりして余計なメッセージを伝えていませんか？ 私もこれからは紳士的になれるよう精進します。

■子育ては終盤戦？！ 【運用調査部／斉藤】

娘は試合で負けた涙を親に見られないように、テニスコートを後にするのに時間をかけるようになりました。息子は交代させられた悔しい気持ちをサッカー場からの帰りの車中で多弁に振舞うことで整理しているようです。あつという間の10年、人間の芯の部分への親の関与の終わりに哀歓を感じつつ…残った役目は教育費、同時期にあるファンド仲間の人生も想像し調査業務へも合が入ります。

■突破口を見出して！ 【運用調査部／大澤】

「さわかみファンド20周年記念感謝祭キャラバン」が関東ブロックを皮切りに10月から始動しています。感謝祭の中で長年お付き合いくださっている女性のお客さまから、「どんなに大きく値動きしようと、任せたのだから不安に思ったことは一度もない。始める前に澤上篤人さんの本も読んだし、主婦の私が会社まで行って、その会社なりや社員の人となりを見てから決めたことだから」と言っていました。「これから私たちに期待することは？」と伺うと、「若い人たちにも長期投資が広がるように、さわかみ投信がその突破口をみつけてほしい」とのこと。期待に添えるように明日からまた頑張ります。

■プロとは何か 【情報システム部／江藤】

プロバスケ(Bリーグ)の観戦にすっかりはまっている私に、さわかみグループの社員から「バスケを一言で言うと何ですか？」と聞かれ、改めて考えてみました。私にとってバスケ(Bリーグ)とは、プロとは何かを考えさせられるもの。お金をいただくという意味ではプロバスケ選手も私も一緒なはずで、選手のプレーを見ながら「今週、私はこんなに本気で仕事やったかな、いや、まだまだできるな。」と再確認する場になっています。

■レユニオン島、100マイルの旅 【運用調査部／佐藤】

夏休みは南インド洋に浮かぶレユニオン島を166km駆けてきました。世界トップクラスのトレイルランナーが集い、年に一度島中が湧きたつレース。灼熱の陽射しと凍てつく霜を味わいながら、火山群を上り下りすること累積標高9,611m、完走率は6～7割。「フィニッシュできるか？」と不安になる暇があるなら、自分を信じて「どうすればフィニッシュできるか？」に集中する。そう気づかせてくれたのは、過酷さそのものではなかった。各国の選手、ボランティア、庭先から手を振る子供たち。誰もが懸命にゴールを目指すランナーにエールを贈ってくれる。みんな仲間、そう思える嬉しさがゴールまで背中を押し続けてくれた。個人も、チームもその点は同じではないのかな？ 48時間36分の旅は、強さの源も教えてくれた。

■評判って何？ 【直販部／大野】

住まい近くの商店街は東京でも有数のラーメン激戦区です。せっかくの機会なので、体調が悪くなるほど食べ歩いてみた結果わかったことがあります。人がたくさん入っているところが決してうまいわけではないということです。結局一番うまかったのは、私がいつも行っている少し閑散とした店でした。みなさん評判の良い店で食べることに満足していて、自分の味覚で満足しているわけじゃないというのが私の感想です。せっかくなら自分がうまいと感じる店を応援したいですね。

■四季報読み合わせの会 【運用調査部／中川】

さわかみ投信では、たくさんのイベントがありますが、私は「四季報読み合わせの会」を開催しています。世の中には、まだまだ知らない面白い会社があるので、みんなで探していきたい！という思いから始めました。今年の春から始めて、今月で3回目の開催になります。読み合わせの仕方としては、1000番台から9000番台まで9人で担当します。そして担当者は自分の担当の中から「この会社面白い！」とか「こんなビジネスがある！」とか「社会貢献してるよね！」とかの観点から気になった会社を発表します。いろいろな人の見方があり、フリートークの中でも多くのアイデアをもらうことができ、私自身とても楽しんでいます。これからも、さわかみ投信の仲間と「思い」を共有していければと思います。

■異動しました 【運用調査部／藤沼】

この10月に直販部から運用調査部へ異動になりました。入社以来ずっと直販部にいましたが、その間多くのお客さまの励ましもあり、ここまでやってこれたと実感しております。新しい仕事に慣れるのもなかなか大変ですが、これからもお客さまのご期待に応えられるよう、心機一転頑張ります。

さわかみ投信の

自立して堂々と生きていこう

さわかみ投信の伝統的なセミナーである「自立して堂々と生きていこう勉強会」。皆さまのご質問から開始する不思議な会を、この紙面に再現してみました。まさに全国で開催する弊社の自立勉強会そのもののかたちです。



50代男性

先月、名古屋で開催した運用報告会に参加しました。この運用報告会の狙いは何ですか？

2012年以前のさわかみ投信は、「月次レポートで投資情報の全てを開示をしているので説明は不要、我々は結果責任のみ受ける」という姿勢でした。しかし企業への長期投資の経験を経て、「企業の不斷の努力、そして未来への可能性をファンド仲間の皆さまと共有したい」と考えが変わりました。「長期航海の船旅では皆で目的地に向かってひた走ろう」だったものが、おかげさまで船自体が安定・堅牢化したため、「船旅途中の景色も皆で楽しもう」と趣向を変えたのです。具体的には、一年の運用の振り返りはもちろんのこと、ファンド仲間の皆さまに投資先企業を見ていただくことで超長期のイメージや長期投資の魅力などを感じていただけたと考えております。そして同時に、企業さんに長期投資家たるファンド仲間に会っていただくことで長期経営への自信に繋がればと。中身を見ない短期利益至上主義は時に企業の成長を阻害します。すると未来に住む私たち自身の社会の発展も危ぶまれます。長期投資で大切なのは、企業が事業リスクをとるなら投資家が投資リスクを共にとることです。それが一致し、同じ目線で未来へと歩んだら社会は皆でつくるものへと変わります。もちろんこのような会を開催できるのは、皆さまが長期でさわかみファンドをお持ちいただいているからこそ。感謝の念に堪えません。最近ですと、出展された企業さん同士のコミュニケーションも活性化しており、新しい何かが生まれる兆候も見え隠れしています！



澤上 龍



60代男性

企業の成長に期待して長期投資をするなら、成熟した企業は投資から外すのですか？

そんなことはありません。時代や状況変化に対応しながら一定の利益を上げ続けることも大切です。成長とは売上や利益額の向上だけではないのですから。そしてそういった企業であれば、相場暴落時などの安値で投資し、上昇局面で薄く利益確定（現金化）した上でまた暴落時に投資する…長期投資のリズムをもって対応します。ちなみに、企業は私たちの見えないところで成長の機会をしっかりと狙っていますよ！実際、日本の多くの企業が成熟期を迎えましたが、衰退せずに生活者に必要とされ続けているではありませんか。それもまた成長と言えるでしょう。



澤上 龍

企業というのは日々活動しており、そのために顧客や取引先、従業員、金融機関や行政機関、そして株主といった多くのステークホルダーを満足させながら、その上で利益確保をし、存在を継続しているものです。そういった中から、より社会を豊かにしていきなり、生活向上に貢献したり、また社会課題の解決に寄与している企業群に、我々さわかみファンドは長期投資、応援投資をしています。こういった観点からすると、その企業が成熟した存在であるとか、ないとか、ということはあまり気にすることではないのかと考えます。先ほどのステークホルダーの観点からすれば、むしろ成熟企業の方が、より多くの取引先や従業員を抱え、社会に対する責任、影響力は、利益的に急成長を遂げているベンチャー企業よりも、多大ではないのか。こういった観点も交えながら、投資先企業に対するリサーチをしています。



正木

成熟したからという理由で投資から外すことはありません。成熟している企業は、その業界において私たちの生活必需品やサービスを提供してくれている生き残った巨人であることもあります。そのような企業が株式市場の都合などで本来の企業価値よりも低い評価を受けている場合はむしろ安心して応援投資をすることができます。もちろん企業の価値が想定している水準へ戻ってくる時には、その企業の今後の展開として新しい花が開こうとしているのか、大きくは変わらないのかなど更なる議論を重ねる必要があります。そういった意味では、一見成熟した企業に見えても、そもそもまだ成長してやるぞという執念がある企業が投資対象となつているとも言えます。



斉藤

表面より



60代女性

いずれ息子たちにファンドを相続しようと考えていますが、すぐに売ってしまわないか心配です。子どもたちがファンドを続けてくれるようなアドバイスをください。

よくいただく質問(ご意見)ですが、最も回答が難しい類の一つです。正直申し上げて、親御さんから継続的に資産運用の重要性や長期投資の魅力をお伝えいただくこと以外の回答が見当たりません。想いの相続は諦めずに時間をかける必要があります。そして同時に、お客さまご自身が資産運用をやっているという背中を息子さんたちに見せ続けることです。あと10~20年もすれば資産運用が更に大衆化されます。そうなってくると今回のようなご相談も減ってくるはずですが、もちろん資産運用を経た大人たちがカッコよく生きているかどうかは問われますが…。現在のよう投資をギャンブルとして扱い、またはお得な裏技を探すような小手先の手法がまかり通っていたら、子どもたちは投資に興味を見出せません。金融教育の最重要部分は「コツ」ではなく「生き方」なのですから。弊社の勉強会にお連れいただくのもありますが、私たちよりも親の背中が一番です。それと、息子さんたちがお金を大切に考える当事者になることも大切です。例えば結婚するとか、子を持つとか。そのタイミングを逸しないように、それまではじっくりお伝えください。



澤上 龍

まずはご夫婦で旅行に行ってみるなど、ご自身がゆったりとしたお金の使い方をしてみてはいかがでしょうか？ 続けていけば自然とお子さまがご夫婦の行動に関心がでてくると思います。そこでようやく長期投資の出番となります。ご自身の考え方をお話いただいても良いし、弊社のセミナーと一緒に過ごしていただいても結構です。もし敷居が高いのなら、ご家族5人集めていただければ、講師を派遣することもできます。長期投資の良さを感じていただくきっかけが大事だと思いますが、そのきっかけのキーマンはやはりご家族だと思います。



大野

ありがたいお言葉です。セミナーやお電話で同様の声をいただくとともに、私もどのような方法がいいのか模索中というのが本音です。ご家族で弊社の勉強会や運用報告会等へのイベントにお越しになられた方々にお聞きするのですが、皆さま方法は様々でした。家族で話をして少しずつ贈与を始めた方、相続発生時に遺言書に託されたメッセージを見てさわかみファンドを保有し続けようと考えた方など、家族それぞれの方法があるように思います。ただ、家族のために大切なことを伝えたいという気持ちはあっても、相手が聞く気にならなければ暖簾に腕押しかもしれません。私がこの会社に入ってお金のことを話すことに抵抗がなくなったのは、周囲に笑ってお金の話ができたり、お金の不安なんてどこ吹く風という先輩がいたからですが、自発的に関心をもって行動していくには周囲の良い変化が大切なかもしれません。



中津

今月の

会長語録 答えを聞くな。まず自分で考えろ。次回までの宿題だ。

【ご留意事項】

リスク	さわかみファンド(以下、「当ファンド」という。)は、主に国内外の株式や債券など値動きのある有価証券等に投資します。そのため、組み入れた有価証券等の価格、外国為替相場等の変動により、基準価額は変動等の影響を受けます。これらにより生じた利益および損失は、全て当ファンドの受益者に帰属することとなります。また、元本および利息の保証はなく、預金保険の対象ではありません。したがって、受益者の投資された元本は、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その損失に耐えうる以上に当ファンドに対して投資することはご遠慮ください。投資信託は預貯金とは異なります。					
購入時手数料	ありません。	信託報酬	当ファンドの純資産総額に対して、1.10%(税込・年率)です。		信託財産留保額	ありません。
その他費用・手数料	当ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、売買委託手数料に対する消費税等相当額、先物取引・オプション取引等に要する費用、一部解約金の支払資金の手段を目的とした借入金の利息は、信託財産中から支弁します。※これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率上限額等を示すことができません。			留意事項	投資にあたっては、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をよくご覧いただき、ご自身でご判断ください。「投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求は、さわかみ投信株式会社(TEL:03-6706-4789)までお申込みください。	

■このレポートは、さわかみ投信株式会社が「さわかみファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。■当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申込みください。■このレポートは、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動等を保証するものではなく、将来予告なしに変更されることがあります。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申し込みは…

【さわかみ投信株式会社】金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第328号 一般社団法人投資信託協会 会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 会員
〒102-0082 東京都千代田区一番町 29-2 TEL:03-6706-4789 FAX:03-5226-7981